

【フィロソフィー (philosophy) を堅持していますか】

フィロソフィーとは、日本語で「哲学」「原理」「人生観」などを表す英単語です。先日の新人大会で創部以来初の優勝を成し遂げた本校サッカー部のHPには、意義目標、数値目標、行動目標、サッカースタイルなどが「フィロソフィー (我々が目指すもの)」として明記されています。また、2019年策定の数値目標には「3年以内に県大会に優勝し全国大会へ」「5年以内に……」とあります。新人大会の決勝トーナメントで金市工業、鵬学園、星稜、遊学館を破り栄冠を勝ち取った背景には、このようなチーム哲学が存在していたのです。有言実行を果たした生徒の努力と健闘を称え、2022年の更なる活躍を期待します。

自分の目標を具体化し、数値目標や行動目標を設定して明文(文字)化する。このことを実践している人はどのくらいいるのでしょうか。将来……になりたい。資格を取りたい。という願望ではなく、「……の資格を取る」「将来……になる」のような「決意表明」をしてください。そうすることが、自身の責任を生み、常に自身の行動を振り返り、気付かせ、戒め、奮い立たせ、継続することにつながります。

生徒の皆さんには、2021年を振り返り、来る2022年に向け、生徒一人ひとりが自身の philosophy を確立してくれることを期待しています。

教頭 日吉 正

【探究授業の概要】

現在の日本社会は、膨大なデータ蓄積とAIの進化を軸にした第4次産業革命が進むとともに、前例のない超高齢社会に突入し、過去の成功パターンを頼りにできなくなりつつあります。その中で、より多くの人、多くの仕事に主体性や創造性、課題発見力やチャレンジ精神が求められています。

この状況も踏まえ、学習指導要領が来年度から新しくなりますが、その中核にあるのが『総合的な探究の時間』という科目です。生徒は自ら課題や疑問を発見し、それについて調べ、考え、まとめ、伝え、更にそのプロセスの中で新たな課題や疑問を発見するという活動を行います。

本校では、昨年度よりこの科目を先行実施しております。生徒の様子を見ていると、普段とは異なる頭の使い方や人との関わり方が求められることもあり、苦戦している場面があるのですが、生き活きと取り組んでいる様子も多く見られ、頼もしく感じています。

なお、今年度の2年生からフィールドワークに積極的に取り組むことを目指しており、机の上だけで考えるのではなく、実際に足を運んで現場を見たり、人から話を聞いたりなどすることを促しています。

連携している3つの大学をはじめ、さまざまな団体と連携しながら、生徒がより豊かな体験ができるよう今後もプログラムを考えていきます。

探究企画室主任 寺西 望

【後期新人大会の結果】

弓道部	[女子] 個人 山下夕月	優勝
北信越大会 11/19, 全国大会 12/23 出場決定		
サッカー部		優勝
書道部	[臨書の部] 松永果歩	最優秀賞
男子バスケットボール部		準優勝
新人選抜七尾大会 1/22・23 出場決定		
女子バスケットボール部		3位
新人選抜七尾大会 1/22・23 出場決定		
剣道部	[女子] 団体	3位
北信越大会 2/5・6, 全国選抜県予選大会 1/23 出場決定		
	[女子] 個人 尾蔵杏紗	準優勝
	宅本光見	3位
少林寺拳法同好会		
[男子] 規定単独演武	中村煌汰	準優勝
全国選抜大会 3/25~27 出場決定		

【北國スポーツ奨励賞受賞】

水泳部の中池菜緒さんが、北國スポーツ奨励賞を受賞しました。この賞は、北國スポーツ賞に加えその年度において石川県のスポーツ界で好成績をおさめ、今後の活躍が期待される個人や団体に授与されるものです。

おめでとうございます！

